

機械器具 21 内臓機能検査用器具

一般医療機器 心電計ケーブル及びリード 35562010

# マルチリンク ECG リード (ML5 ECG リードセット)

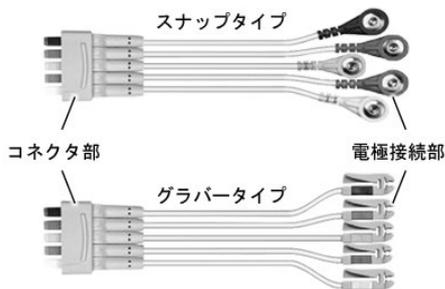
**【禁忌・禁止】**

〈併用医療機器〉「相互作用の項参照」

- MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。  
[MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあるため。]

**【形状・構造及び原理等】**

1. 形状



カタログ番号	品名
411200-004	ML5 ECG リードセット 130cm SNAP
412681-003	ML5 ECG リードセット 74cm GRAB
414556-004	ML5 ECG リードセット 130cm GRAB
414556-006	ML5 ECG リードセット 130/74cm GRAB
416467-002	ML5 ECG リードセット 130cm C2-C6 GRAB

2. 構造・構成ユニット

- ケーブル接続部: マルチリンク用
- リード線
- 電極接続部: スナップ又はグラバー (IEC 5 誘導)

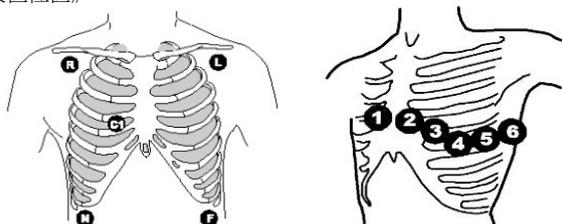
**【使用目的又は効果】**

患者の心電図信号を生体情報モニターに伝達する装置をいう。本品はマルチリンク ECG ケーブルと組み合わせて使用し、ECG 電極を用いて胸部に取り付ける。

**【使用方法等】**

- リード線を心電図ケーブルに接続するには、コネクタ部のピンをケーブル側の接続部に合わせて確実に差し込む。
- 患者の胸部の正しい位置に電極を貼る。
- スナップ又はグラバーの数字及びアルファベットに注意して、該当する電極を接続する。

《電極装置位置》



**【使用上の注意】**

〈重要な基本的注意〉

- リード線は定められた場所に装着すること。(使用方法の1~3.を参照のこと)
- 抜き差しを行う場合は、リード線を引っ張らずにコネクタ部を持って行うこと。[断線や接触不良の原因となるため]
- GE Healthcare 社以外の装置に使用しないこと。[その他の装置との動作保証はしていないため]

〈相互作用 (他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)〉

- 併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置 (MRI 装置)	検査室に本品を持ち込まないこと。MRI 検査を行うときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。

**【保管方法及び有効期間等】**

〈保管条件〉

周囲温度: -30~60℃  
相対湿度: (結露しないこと)

〈耐用回数〉

クリーニングテスト 80 回  
本品は消耗品 (修理不可能) である。異常があれば新品と交換すること。

**【保守・点検に係る事項】**

〈使用者による保守点検事項〉

- 使用前に製品の破損・汚れがないか確認すること。目視で確認できる損傷がある場合は直ちに使用を中止すること。
- 使用後は中性洗剤に浸した柔らかい布で清拭した後、水道水を浸した布ですすぐこと。
- 洗浄後、2%グルタルアルデヒド又は70%イソプロパノールに浸した滅菌布を使用して消毒すること。オイルや有機溶剤は使用しないこと。
- 洗浄・消毒後は完全に乾燥させること。
- 本品は液体に浸したり、改造したりしないこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者:

\* エアライフジャパン合同会社  
TEL: 0120-951-321 (カスタマーサービス)

外国製造業者:

\*\* エアライフ フィンランド オーワイ (AirLife Finland Oy)  
国名: フィンランド共和国